

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	スペシャルニーズ タイニートツ・モジラ (放課後等デイサービス)			公表日	令和 6年 11月	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	1	6	・広くはないが個室を活用している。バギーの置き場等工夫をしている。	・バギーに乗車している際、全員が同じ空間で過ごすことが難しい時がある。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	3	・定員に対し基準の配置は行えているが、緊急時の対応について工夫やシミュレーションが必要。体調等、利用児の状況に合わせ活動内容の変更や工夫を行っている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	5	・「家」をコンセプトにしている為、施設感はなく、特性に合わせた工夫と対応を行っている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	2	・掃除、消毒、洗濯等衛生管理に努めている。活動に合わせて場の確保を行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	2	・パーティション等の工夫や個室を活用している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	2	・変化の多い日々の中で、今後情報共有のさらなる工夫が必要。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	2	・新規事業の為、今回が初となる。茶話会等を通じて、意見を伺う場を設けている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・意見がある際には、その都度挙げて改善策について早急に検討している。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		7	・第三者評価は行っていない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		・法人内研修は、計画的に行っている。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		・活動計画は毎月計画を立てている。今後、5領域に合わせた支援プログラムを公表していく為、現在検討を行っている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	2	・適宜アセスメントを行っているが、不十分な時もあると感じている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		・児童発達支援管理責任者だけでなく、利用児ごとに担当職員を決め、一緒に作成するようにしている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	1	・概ね行えているが、周知の足りない点も見られる。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1	・インフォーマルなアセスメントについては、十分に活かされていない。	・アセスメントについては、視点を含む勉強会の開催等を行っていく。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	2	・5領域について、職員間で改めて共通理解が必要であると感じている。	・今年度中に、5領域を明確に示したうえで、支援について、改めて共通理解を行っていく。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	3	・立案は、担当職員を中心に行っているが、活動自体は全職員で行っている。	・全職員のアイデアが柔軟に活かされた立案を目指す。

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		・本人の好きなことや得意なこと、または初めてのことにもチャレンジ出来るよう毎回工夫を凝らしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	1	・集団での関わりと、個別化を双方ともに意識しながら行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1	・朝礼にて共有している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	5	・終礼にて共有しているが、詳細について振り返りや確認の不十分な時がある。	・今後も、引き継ぎ、振り返りを都度行える体制づくりをしていく。また、欠席の職員には、業務日誌等の記録を使用し、振り返り等の共通理解の徹底を図る。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	1	・家族から電話やメールで受けた連絡内容について、記録が不十分な時がある。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		・現時点で行えている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	2	・行っている。地域との交流は不十分と感じる。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	2	・意思決定支援を意識して行っている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		・児童発達支援管理責任者と担当職員が出席するようにしている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	2	・学校やこども園、医療機関と細かな連絡を取るようになっている。また、法人内の事業所間でも連携を図っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	3	・送迎時に共有を図っているが、不十分と感じる。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	2	・現時点でそのような事例がない。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	6	・現時点でそのような事例がない。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	3	・基幹相談支援センターや自治体・福祉課等と連携を図っている。研修会には積極的に参加をし助言等頂いている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	4	・法人内事業所との交流は行っている。	・今後、地域との交流の拡充を図ります。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	1	・自治体が行う自立支援協議会に毎月参加し、情報を共有している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		・送迎時や電話、メール等で細かく連絡を取るようになっている。（欠席時などは特に）	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	4	・茶話会の開催や、きょうだい児も一緒に来所出来る環境設定を行っている。	・今後、保護者の意見を伺いながら、内容を充実させていく。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	1	・契約時もしくは計画作成時等に行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	2	・アセスメントを行いながら確認をしている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7		・適宜頂いている。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		・適宜行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	7		・事業所で保護者会の設立は行っていないが、イベントの企画を行うにあたり、ご家族同士またはきょうだい児の交流の場の設定及び支援を行えるようにしている。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	1	・いつでもご相談して頂けるよう、日頃のコミュニケーションを大切にしている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		・インスタグラム等SNSでの発信は随時行っている。ご家族も活動報告を楽しみにして下さっている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		・留意している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	1	・個別に意思疎通の方法等工夫及び配慮を行っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	3	・見学等随時開催している。	・今後、地域の祭り等への参加を計画していく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	5	・作成しているも、周知に至っていない。	・職員やご家族への更なる周知を図る。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	4	・策定及び避難訓練は行っている。	・今後も継続していく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		・確認している。	・服薬状況に変更があった際など、細かな確認を行っていく。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	2	・アレルギーについては、保護者からの聞き取りに留まっている。	・必要に応じ、医師からの指示書をいただくこととする。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	4	・研修や訓練は行っている。	・服薬や発作時の対応など、まだまだ不十分な点がある為、今後さらなる措置を講じていく。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	3	・まだまだ不十分。	同上
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	2	・共有しているが、口頭での確認になっていることがある。	・今後も細かく挙げていけるよう共通理解を図っていく。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	3	・行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	1	・重要事項説明書にて説明および同意を得ている。		